

バンコク日本博2025

NIPPON
HAKU
BANGKOK
2025

会 期：2025年8月29日（金）～31日（日）
 会 場：クイーンシリキット国際会議場
 主 催：バンコク日本博2025実行委員会／(株)ジェイエデュケーション
 共 催：パーソネルコンサルタントマンパワータイランド(株)／てっぺんタイランド(株)
 後 援：在タイ日本国大使館／国際交流基金バンコク日本文化センター／
 (独)日本貿易振興機構／日本政府観光局／(独)国際協力機構／
 宇宙航空研究開発機構／タイ国日本人会／御茶ノ水ロータリークラブ
 対 象：一般、ビジネス
 公式サイト URL：<https://nipponhaku.com/>

総来場者数（参加数）：151,727人 過去最多
 出展社数：295社 過去最多
 内訳：（国内出展社数：158社 海外出展社数：137社）
 出展参加国と地域数：2の国と地域
 プレス社数：228社

■開催内容

バンコク日本博2025（NIPPON HAKU BANGKOK 2025）は、日本とタイの相互理解促進および経済・文化交流の深化を目的として、バンコクにて開催された総合日本イベントである。本イベントは、観光、教育、食、エンターテインメント、ビジネスを横断的に結びつけ、日本の多様な魅力をタイの来場者に発信する場として企画・運営された。

本年は開催規模をさらに拡大し、日本の自治体、政府関連機関、民間企業、教育機関、飲食・酒類事業者など、幅広い分野から多数の出展者が参加した。特に観光・地域振興分野では、訪日観光の回復と地方誘客を見据えた情報発信が積極的に行われ、日本各地の特色ある文化・産品・体験型コンテンツが紹介された。

また、日本食および酒文化の発信も大きな柱の一つであり、KANPAI THAILANDをはじめとする日本酒・食品関連企画では、正しい知識と背景を伝えることを重視した構成とした。試飲・試食のみならず、製造背景や地域性を伝えることで、日本産品の価値理解と中長期的な市場形成につなげる取り組みを行った。

教育分野においては、日本留学・日本語学習・日本での就職に関する情報提供を行い、若年層を中心に高い関心を集めた。単なる進学案内にとどまらず、日本社会で学び、働くことのリアルな姿を伝えるセミナーや相談対応を実施し、将来的な人的交流の基盤づくりに寄与した。

エンターテインメントおよびポップカルチャー分野では、アニメ、音楽、ステージ企画を通じて幅広い世代の来場者を惹きつけ、日本への親近感を高める役割を果たした。これらの要素が相互に作用することで、会場全体として「日本を総合的に体験できる空間」を実現した。

本イベントを通じて、日本ブランド全体の価値向上、将来的な訪日需要・留学需要の創出、さらには日タイ間の持続的なパートナーシップ強化に一定の成果を上げた評価できる。今後は、出展者・来場者双方の声を踏まえ、より実効性の高い商談機会や継続的な関係構築につながる仕組みを強化し、次回以降の開催につなげていく方針である。

■2025年度の新規取り組みとその成果・特色など

- ・今回は会場変更に伴い出展数が増加し、規模を拡大しての開催となった。
- ・日本全国から40の酒蔵が一堂に会する「日本酒フェア」を実施し、日本酒の飲み比べができる機会を提供した。
- ・日本・浅草で毎年開催されている「三社祭」にて実際に使用された提灯81個をご寄贈いただき、日本らしい厳かで華やかな雰囲気会場入口に演出した。
- ・JAXA、NSTDA、GISTDA等の日タイ両国の宇宙関連政府機関の協力のもと、宇宙産業を紹介するとともに、日タイ間で多くのコラボレーションが実現している産業分野として展示を行った。

